経営をよりよくしたい経営者様へ

経営カイゼンつうしん

今回の
テーマは
設備投資
その2

vol.22

1. 設備投資の重要性

将来キャッシュ・フローの最大化。
これが本質であり、設備投資の目的です。
と前回、設備投資の本質について書きました。

これは、あくまでも、財務・会計上でのお話し。

その前に、考えなくてはならないことがあります。

実は、これまで、くどくどと書いてきたことなのですが。

貴社の経営理念、事業戦略、課題解決に結びつくか。
それから、設備投資は、長く使うモノ・コトに投資するので、これからの環境変化が激しい中でも、貴社の事業に貢献し続けるか？
これらを、再確認する必要があります。

あーこれがあると楽だなとか、もっと生産量を増やせるなとか、経費削減できるなとか。
そんな考えだけでは足りないのです。

今一度、経済環境、自社が置かれている環境、自社の経営資源、そして、事業の方向性を今一度、振り返り、適切な経営ができるのか、検討しましょう。

2. 設備投資のよしあし

その良し悪しを決めるのは、これからの時代の潮目の変化を見極めて、多額のキャッシュを投入して、今ある問題・これからの成長に向けた課題を解決できるか？

これが、定性的な本質的問いです。

いまや、SDGｓなどという、本業をもってして、社会的課題を解決できるかという視点すら、必要とされる時代。

この問いに、YES！と胸を張って言えるならば、いよいよ、設備投資の内容の精査に入っていきます。

さて、設備投資という長い旅路の始まりです！

3.自己紹介

みなさまへ、手紙を書くつもりで書きます！

国仙悟志（こくせん さとし）　１９７４年７月９日、札幌市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、地方大手百貨店に入社し、店頭販売、販売促進、店舗運営、民事再生法手続関連部署にて勤務しました。
　在職中、室蘭店勤務で赴任していたときに、あまりにも時間があることがわかり、（正確に書くと、ビールと焼鳥が美味しく不摂生がたたり、健康診断の結果が悪く、人事部に呼ばれたのがきっかけ）産業能率大学経営情報学部通信課程を受け、卒業しました。勝間和代氏がメディアによく出ていたころで、早起きして勉強に励むという生活スタイルが話題になり、ワタクシも、早起きの習慣を手に入れました。このとき以来ずーっと早寝早起きを行っています。
　その後、中堅石油販売会社にて勤務し、その間に、中小企業診断士を取得し、２０１１年に独立開業、２０１４年に法人を設立しました。百貨店時代に経験したマーケティング、マーチャンダイジング（品揃え戦略）、プロモーション、企業再生、そして、石油販売会社で経験した中小企業の実体験。
これらの経験、さらには、開業後の活動、研究などが、今の仕事のベースになっています。

©中小企業診断士　国仙悟志　株式会社ブルームプラン